

運転支援システム(ADAS)搭載/純正ミラー交換タイプ/2カメラ同時録画対応

デジタルスマートルームミラー

【取扱説明書】

SMDR-A002

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■使用上のご注意	1
■安全上のご注意	4
■本体各部名称	7
■microSDカードの挿入・取り出し	8
■電源のON/OFF	9
■表示切替	10
■操作画面	11
■メインメニュー画面	13
■バック連動	14
■ADAS設定	15
■ADAS調整(初期設定)	16
■ADAS機能のご利用について	17
■前方ADAS警告方法と警告マーク表示	18
■サイドカメラ表示・非表示の警告マーク表示例	21
■再生画面	22
■録画設定/録画モード	23
■本体設定	24
■その他の安全補助機能について	27
■サイドカメラ画面	28
■アンドロイド内部ストレージについて	29
■システムにアプリケーション追加	30
■アップデートについて	31
■よくある質問	32
■製品仕様	33

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リア/サイドカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

使用上のご注意

11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

■LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについて】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12Vマイナスアース車専用です。
12V車以外では使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



注意

- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

- 本機の時計はGPSを受信した状態でGPS自動設定時間によって正しい時刻になりますので、初期及び長時間使用しなかった後に起動する場合は、GPSを受信して正しい時刻にあったかどうかを確認してください。
- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面表示が消えてから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



①液晶モニター

②電源・画面表示切替ボタン

③スピーカー

④取付ステー接続部

⑤マイク

⑥microSDスロット

microSDカードの挿入・取り出し

■カードを挿入する

本体右、microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



向きに
ご注意ください



■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを押してカードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、かつFAT32フォーマット、128GBまでものをご利用ください。

※初回ご利用する際にはmicroSDカード(別売)をフォーマットしてください。

※microSDカードをフォーマットせずに本機に挿入すると、microSDカードを認識出来ない場合があります。

下記URLからフォーマット専用ソフトウェアをダウンロードしてご利用ください。

<https://maxwin.jp/datadownload/software/>

「SMDR-A002 microSDカードフォーマットソフト」のzipファイルをダウンロードしてください。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動（ACCをON）すると自動的に起動します。

システム起動のため十数秒かかります。

リアカメラ/サイドカメラ映像をモニターに表示し、フロント/リアの2カメラで録画を開始します。



■電源のOFF

車両のエンジンを停止（ACCをOFF）すると、自動的に停止します。



■本機の電源を手動でOFFにする

本機の電源がONのときに電源ボタンを3秒以上押すと、再起動・シャットダウン（電源OFF）を選択できます。

手動でシャットダウン（電源OFF）にすると、エンジン連動で電源ONになりません。

電源OFFの状態でも1回短押しすると電源ONにできます。

※エンジンスイッチが「OFF」のときには手動で電源を「ON」にできません。

表示切替

起動後は自動的にリアカメラ映像、もしくはリアカメラ+サイドカメラ映像を表示します。(サイドカメラを取り付けた場合)

電源・カメラ切替ボタンを短押ししてカメラ映像非表示/フロント/リア映像表示などの切り替えができます。

(例)

リアカメラ
+
サイドカメラ



フロントカメラ
+
サブ表示エリア



表示OFF
通常のミラー
として使用

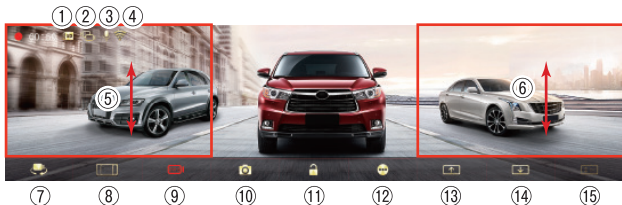


操作画面

画面をタッチすると操作画面が表示されます。

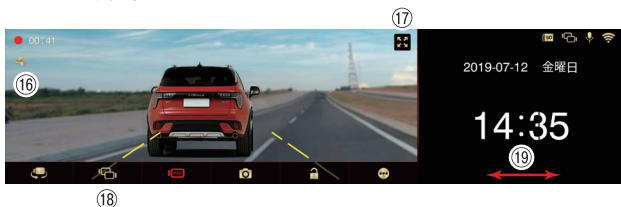
■リアカメラ(サイドカメラ)表示

リアカメラ表示の場合、リアカメラ全面表示とリア+サイドカメラ分割表示に切り替えることができます。



- ① microSDカード状態…microSDカード状態 (正常/異常/なし)を表示します。
- ② 録画状態…録画状態 (フロントカメラ/リアカメラ/前後カメラ同時/録画していない)を表示します。
- ③ 録音状態…録音 (ON/OFF)を表示します。
- ④ Wi-Fi状態…Wi-Fiの状態 (接続あり/なし)を表示します。
- ⑤ 輝度調整…画面左側を上下方向にスライドして輝度を調整します。
- ⑥ アングル調整…画面右側を上下方向にスライドしてリアカメラのアングルを調整します。
(リア+サイドカメラ分割表示の場合は機能しません)
- ⑦ 前後カメラ切替ボタン…前後カメラ表示画面を切り替えます。
- ⑧ カメラ表示切替ボタン…リア+サイドカメラ分割表示/リアカメラ全画面表示を切り替えます。
- ⑨ 録画ON/OFFボタン…前後各カメラによる録画を停止/再開します。
- ⑩ 静止画撮影ボタン…表示中のカメラ (フロントまたはリア) 画面を静止画で保存します。
- ⑪ 録画ロックボタン…撮影中の録画映像をロックします。
- ⑫ メインメニューボタン…メインメニュー設定に移動します。
- ⑬⑭ アングル微調整ボタン…リアカメラの表示アングルを上下に微調整します。
- ⑮ アングル確認ボタン…⑨⑩で微調整したアングルを保存します。

■フロントカメラ表示



①⑥ 音声案内ON/OFFボタン…ADAS音声案内のON/OFFを切り替えます。

①⑦ 全画面表示切替ボタン…全画面表示に切り替えます。

①⑧ カメラ表示切替ボタン…フロント+リアカメラ分割表示に切り替えます。

①⑨ サブ表示エリア…左右にスライドして時計やサイドカメラ等の表示を切り替えます。

⚠ 日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。

日時を手動またはGPS自動設定で設定し直してください。
自動設定の場合は正しい時刻の表示まで2,3分程かかります。

■フロント+リアカメラ分割表示



②⑩ フロント表示エリアをタッチするとフロントカメラ表示画面に切り替わります。

②⑪ リア表示エリアをタッチするとリアカメラ表示画面に切り替わります。

メインメニュー画面

「メインメニューボタン」を押して、「メインメニュー画面」に移動します。



- ①戻るボタン…前の画面に戻ります。
- ②デジタルミラーモードへ戻る…どの画面からもデジタルミラー画面に切り替わります。
- ③後方カメラボタン…リアカメラ表示画面に切り替わります。
- ④前方カメラ…フロントカメラ表示画面に切り替わります。
- ⑤再生ボタン…録画したファイルを再生する画面に移動します。
- ⑥ADAS設定ボタン…ADAS設定画面に移動します。
- ⑦録画設定ボタン…ドライブレコーダー機能設定画面に移動します。
- ⑧本体設定ボタン…WiFi/サウンド/表示/安全などの設定画面に移動します。
- ⑨バック設定ボタン…バック連動設定画面に移動します。
- ⑩ファイルボタン…ファイル管理画面に移動します。
- ⑪アップデートボタン…システムを更新します。
- ⑫サブ表示エリア…左右にスライドして時計やサイドカメラ等の表示を切り替えます。



⑬

方位計表示時に⑬をタッチするとサブ表示エリア内にフロント/リアカメラを表示させることができます。

バック連動

本体起動時以外にバックギアを入力すると、バック連動画面に切替わります。他のギアを入れると、元の画面に戻ります。

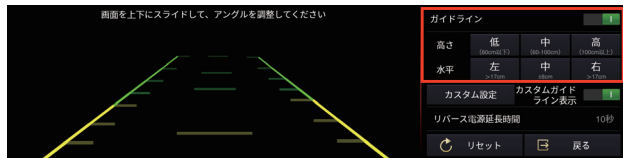
サイドカメラ表示がONの場合は、右側に日時ではなくサイドカメラ画面が表示されます。バック中に後方駐車アシスタント機能(画像認識)が働き、自動的に後方の車や人を認識し、「クリーン+障害物の方向リマインダー+音声警告」の3種類の警告で案内します。



バック連動画面が表示されない場合は、メインメニューの「バック設定」ボタンをタッチして【バック設定画面】に移動してガイドライン機能をONにすることができます。

ガイドライン調整によって、より正確な後方警告が行え、安全な駐車をサポートします。

- ① 右側画面でガイドラインの高さ・水平を調整します。



ガイドライン表示パターン

- ② 「カスタム設定」をタッチすると▲▼を動かすことでより正確なガイドラインを設定できます。



ガイドラインカスタム設定画面

※ガイドライン機能をONにした場合、手動で本機を電源OFF(シャットダウン)にした場合も、バック連動で3秒後にバック連動画面が表示されます。

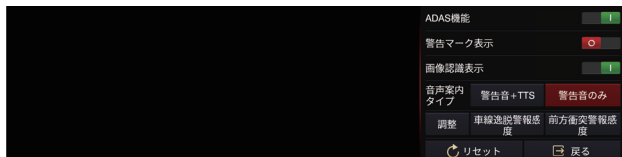
ADAS設定

ADASとは、歩行者衝突警告(PCW)、車線逸脱警告(LDW)、前方車両衝突回避警告(FCW)、前方車両発進通知(FVSA)、および車両の出発をサポートします。

警告マーク、警報音や音声合成(英語)で警告します。



「ADAS設定」ボタンを押して【ADAS設定】のメニューに移動します。



ADAS機能…機能ON/OFF切り替え。ADAS機能が出荷時からONに設定されています。

警告マーク表示…初期設定用、ONの場合は低速走行も全てのADAS機能が動作します。

画像認識表示…フロントカメラ映像画面にADAS識別情報の画面表示が出ます。

音声案内タイプ

警報音+TTS…警報音+音声合成(英語)による案内

警報音のみ…警報音による案内

「車線逸脱警報感度」と「前方衝突警報感度」…動作する感度と最小動作警告速度を設定できます。

※警告マークの表示は識別情報より優先されます。

調整…画像認識する為のフロントカメラの初期設定です。

フロントカメラ設置場所によってADAS機能が正しく動作出来ない場合があります。

ADAS調整 (初期設定)

ADAS機能を使用前に必ず初期設定を行ってください。「調整」ボタンをタッチして設定画面に入ります。

① 車種モデルを選択し、車両の幅、地面からのカメラの高さ、およびカメラから車先端までの距離を入力します。

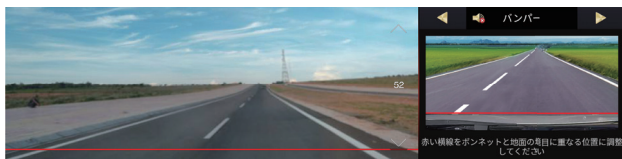


② ▲または▼ボタンを押して、赤色の水平線を黄色の補助線の先端と地面が交わる位置に移動します。

(車種モデルが「ミニバン」に選択されている場合、この設定項目を省略します。)



③ 車を平坦な場所で駐車し、水平線が重なるようにフロントとリアカメラを調整します。赤色の線を道路に対して水平になるように配置します。



③ 設定完了。



ADAS機能のご利用について

■本製品は車線逸脱と車両前方の危険を予測し運転者に警報を発する運転者支援システムです。

■本製品は警報を発することにより運転者に注意を喚起することを目的とした製品ですが本製品の設置により運転者は通常の安全運転の義務を免れるものではありません。運転時は常に前方車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど、安全運転に努めてください。

■本製品は自動運転システムではなく、運転者の車両制御や安全運転の代替として作動するものではありません。本製品に頼った運転は、絶対に行わないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

■車両や走行車線の検出、その他潜在的な道路上の危険を全て認識することを保証するものではありません。

■本製品は運転者の判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。衝突警報が作動した場合は前方や周囲を確認の上、運転者の判断でブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。

■道路、天候およびその他の条件により、前方の車両や車線を認識しづらくなり、状況によっては本製品の認識性能が下がる場合があります。走行車線がはっきりと印された舗装道路での使用を目的としています。

■運転者は走行中にモニターを注視するなど、前方不注意を行わないでください。

■認識性能には限界があります。本取扱説明書を必ず参照のうえ、正しくご使用ください。誤った使用をすると、適切に制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■警報機能は、あらゆる状況で注意を知らせるものではありません。警報機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも、警報を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても、当社や販売店は一切の責任を負いません。

前方ADAS警告方法と警告マーク表示



警告方式:画面に警告マークを表示し、状警報音も同時に発す場合があります。

警告マークは基本画面の右上に表示されます。サイドカメラ映像表示の有無によって警告マークの形式が若干違います。警報音は「警報音+TTS合成音声(英語)」、「警報音のみ」、から選択できます。

■車線逸脱

警報:走行中に意図せず車線を越えた時の警告マーク表示と警報音

設定速度(40~100km/h)以上で機能

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
左車線逸脱	ディンディン TTS:「Lane departure!」	
右車線逸脱	ディンディン TTS:「Lane departure!」	

■前方車間距離

警報:走行中に前方車に近づき危険だと判断した時の警告マーク表示と警報音


設定速度(30~100km/h)以上で機能 表示可能秒数:0.1~3.0(0.1秒ごとに表示)

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
前方車を確認 前方車との車間時間が1.2秒~3.0秒になった時	警報音なし	
衝突の危険性が高い 前方車との車間時間が0.5秒~1.2秒になった時	ダン TTS:「Keep the distance」	
衝突の危険性が非常に高い 前方車との車間時間が0.5秒以下になった時	ディン TTS:「Be careful of collision」	

前方ADAS警告方法と警告マーク表示


■前方衝突

警報:走行中に前方車に近づき危険だと判断した時の警告マーク表示と警報音

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
衝突の危険性が非常に高い 前方車両との相対速度から衝突する危険性があるときに警報	ビビビ(警報音継続) TTS:「Be careful of collision」	赤色 

■低速時前方衝突

警報:低速走行中に前方車に近づき危険だと判断した時の警告マーク表示と警報音
速度(1~30km/h)で機能

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
衝突の危険性がある 低速走行時、前方車と近距離で20cmずつに近づいた時	ドゥドゥ TTS:「Be care of front Car」	赤色 

■前方車発進検知



警報:前方車の発進後に自車が停止し続けた時の警告マーク表示と警報音
停止中(0km/h)、前方車両が発進した時に機能

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
前方車を確認した時 (停車時)	警報なし	緑色 
前方車離れアラーム 前方車発進お知らせ	ディンディン TTS:「Front car is away」	緑色 

前方ADAS警告方法と警告マーク表示

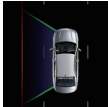
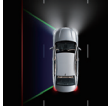
■歩行者衝突

警報:走行中に歩行者に近づき危険だと判断した時の警告マーク表示と警報音
設定速度(5~30km/h)で機能

警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
歩行者を確認 歩行者、自転車 やバイクに乗る 人を認識時、 画面に表示	警報なし	紫色 
衝突の危険性 がある 衝突の2秒前に 警報	ドウドウ TTS:「Pedestrian!! Be careful」	赤色 

■ヘッドライト点灯

提示:薄暮時と判断した時の画面表示

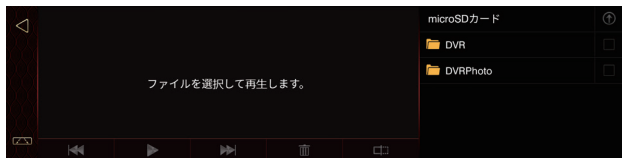
警告内容	「警報音」+「TTS音声(英語)」	警告マーク表示
昼間	警報なし	
夜間	警報なし	

サイドカメラ表示・非表示の時の警告マーク表示例



再生画面

メインメニューで「再生」ボタンをタッチすると、再生アプリ画面に移動します。



ファイル名称について

DVR…動画ファイル

DVRPhoto…静止画ファイル

F…フロントカメラ録画ファイル

B…リアカメラ録画ファイル



①…前の映像に移動

②…一時停止

③…次の映像に移動

④…削除

⑤…映像を左右反転

⑥…再生

⌂…戻る

📁…ファイル

🔒…ロック中

🔓…ロックしていない

動画再生…再生するビデオを選択して、現在選択されているファイルを自動再生します。

鏡像再生…再生するファイルを選択し、⑤を押すと左右反転します。

(水平に反転・リアカメラ記録動画のみ)

録画設定

「録画設定ボタン」を押して、【録画設定画面】に移動します。



運転開始記録、時間スタンプ、および運転記録の録音、Gセンサー感度などの設定ができます。

エンジン連動録画…エンジン連動で自動記録のON/OFFを選択

日時ラベル…日付ラベルのON/OFFを選択

録音…録音のON/OFFを選択

Gセンサー感度…Gセンサーの感度を選択

microSDカードを安全に取り外します。…安全にmicroSDカードをアンインストール

microSDカードをフォーマットします。…microSDカードをフォーマット

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

録画時間は1分で固定です。(ループ録画)

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。



■緊急録画

Gセンサーが衝撃を検知すると、通常の録画から緊急録画モードに切り替わります。

衝撃検知時のファイルを緊急録画ファイルとして保存します。

緊急録画が終了すると、通常録画に戻ります。



■衝撃録画領域がいっぱいになると、古いファイルから順に上書きします。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

本体設定

「本体設定ボタン」を押して、【本体設定画面】に移動します。

本体設定には、システム情報、WiFi設定、サウンド設定、表示設定などがあります。

■システム情報

製品のモデル番号、電子QRコード、バージョン番号、ローカルストレージ、ランニングメモリなどを表示します。また工場出荷時の設定に戻すことができます。

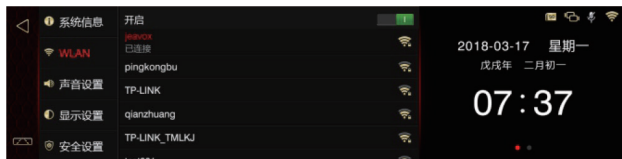


■WiFi設定

ネットワークの接続と切断が設定できます。

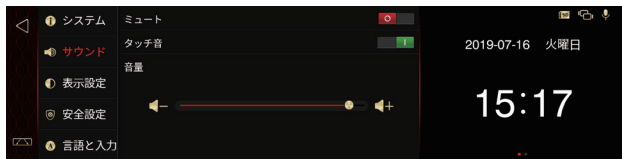
※Wi-Fi設定が表示されていない場合は、

上の図の赤枠【システム】内にある【MCUバージョン】ボタンを、7回タッチしてください。



■サウンド設定

ミュート/タッチ音/音量を設定できます。



本体設定

■表示設定

画面の明るさ自動調整と警告マークの明るさ、表示モードの切り替え順番などが調整できます。



明るさ自動調整について

モニターの輝度と警告マークの表示明るさが時間帯によって自動調整できます。

昼間モード(07:00~19:00)/夜間モード(19:00~07:00)

※昼間の時間帯では夜間モードの設定ができません。それぞれの時間帯内に設定してください。



■安全設定

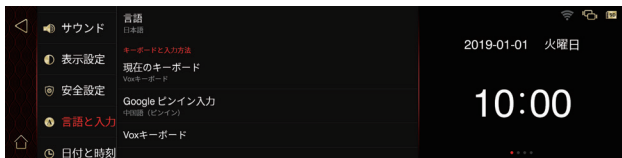
その他の安全補助機能の設定画面です。



本体設定

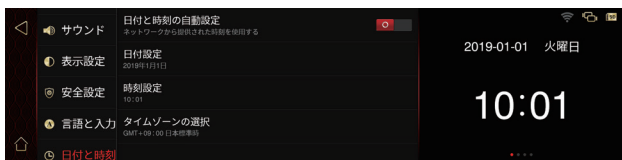
■言語と入力

表示言語や入力方法の変更を行います。



■日付と時刻

日時の設定を行います。



その他の安全補助機能について

電源オフ時延長録画:

ACC電源がOFFになった後に、27秒間録画を続ける機能です。

同時に、エンジンOFF時の状態を記録する為に、フロントカメラで1枚の静止画を撮影します。

リアカメラアングル自動調整:

GPSによる速度連動で停車中の時のみ、リアカメラのアングルが自動的に下へ向く機能です。



通常のリアカメラアングルを手動で設定できます。



停車する際、リアカメラアングルを一番下向きに下げます。
バックが可能であるかの判断や、後方車高が低い車も確認できます。
より後方の安全確認が取れます。



発進すると、リアカメラアングルが設定値に戻ります。
広い範囲を確認することができます。

サイドカメラ画面

サイドカメラを取り付け、「本体設定ボタン」を押して【本体設定画面】に移動し、メニュー内の【安全設定】にて、「サイドカメラ設置場所」をオフ以外にするとサイドカメラ映像画面が表示されます。

※【安全設定】メニューにてサイドカメラのアングル調整もできます。



サイドカメラがONになった後、サイドカメラ映像画面に切り替えをするためのスピード値を設定する必要があり、走行速度がスピードよりも遅い場合、左側表示は自動的に変わります。

サイドカメラ設置場所:

サイドカメラの設置場所によって、「オフ」/「左右」/「右」の設定ができます。



■速度連動について

走行スピードで設定速度以上を継続すると、10秒後にリアカメラ全画面表示に切り替わります。

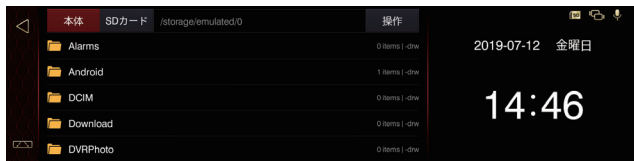
サイド画面表示速度設定:

走行スピードが画面切替設定速度未満の場合は、「リアカメラ+サイドカメラ」映像が同時に表示されます。

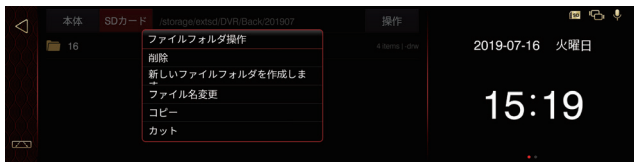
画面をタッチして、全画面ボタンで全画面表示へ変更した時に速度連動が無効になり、全画面表示の状態が維持されます。

アンドロイド内部ストレージについて

メインメニューで「ファイルボタン」を押すと、アンドロイド内部ストレージに移動します。本体内蔵メモリーやmicroSDカードの各種データの状況など確認できます。



ファイルを長押しすると、削除やコピーなどの操作ができます。



※アンドロイド動作及びアンドロイド内部ストレージ操作による不具合については保証致しかねます。

システムにアプリケーション追加

お好みのアプリを追加でインストールすることができます。

■インストール手順

パソコンでmicroSDカード内のDVRフォルダ内に「JeavoxAndroidPrivateAPP」という名前のフォルダを作成します。

追加するアプリのAPKファイルを用意します。

作成したフォルダに追加するアプリのAPKファイルを保存します。

本機の「ファイル」appを開いて、保存されたAPKファイルアイコンを押すとインストール画面が表示されます。

■アンインストール手順

追加したアプリのアイコンを長押しすると、画面上にゴミ箱アイコンが表示されます。削除したいアプリを押しながらゴミ箱に移動し、アンインストールができます。

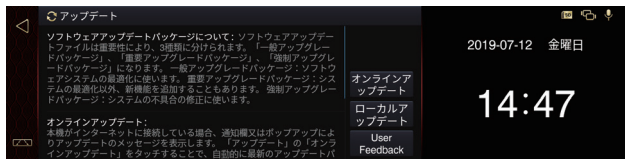
※ミラー本体だけではインターネット接続はできません。Wi-Fiルーター等をご使用ください。

※ミラー本体とアプリとの相性・アプリの動作、アプリインストールによる不具合については保証致しかねます。アプリのインストールはご自身の責任において行ってください。

※アンドロイドのメモリ容量により、複数のアプリを同時に起動するとドライブレコーダーが正常に機能しない場合があります。

アップデート

「アップデートボタン」を押して、「アップデート画面」に移動します。



アップデートについて

ローカルアップデート:

microSDカードによるローカルアップデートが可能です。

アップデートパッケージをお客様自身で用意してダウンロードする必要があります。

インターフェイスのアップグレード手順をご参照ください。

オンラインアップデート:

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。

アップデートがある場合は以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

「SMDR-A002 ファームウェア」をダウンロードしてください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

よくあるご質問

ご質問	回 答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
GPSが受信できない	ガラスが反射コーティングされているとGPS電波を受信しにくくなります。受信しやすい視界の良い場所で確認してください。 初めて使用するときにはGPSを受信するまで時間がかかる場合があります。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	GPSの時刻に同期します。GPSを受信しているかを確認してください。 また、タイムゾーンを+9に設定してください。
ADASの正解率が低い	設定場所・設定が正しくない為、正解率が低くなります。ADAS機能設定をやり直してください。

製品仕様

モニター	8.88インチIPS液晶(解像度:1920×480)
CPU	CPU-CortexA7、4コア
GPU	Mali 400 MP2 GPU
RAM	1GB
ROM	8GB
動作電圧	DC11～16V
電流	800～1500ma
作動温度	-10～70℃
保存温度	-20～80℃
録画解像度	《フロント/リア》720p
カメラ視野角	《フロント》水平80° 《リア》水平101.6° 《サイド》水平210°
イメージセンサー	《フロント》SONY IMX224 (110dB HDR) 《リア》SONY IMX307 (120dB HDR)
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	TS
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

MAXWIN